



「モモ&モモ太」子育て環境日本一
提供：男鹿水族館 G A O



6月定例会の動き

6月	4日	招集告示 議会運営委員会	22日	常任委員会・分科会
	11日	本会議（議案上程） 会派代表者会議	30日	予算特別委員会 議会運営委員会 本会議（表決）
	15日	本会議（一般質問）		
	16日	本会議（一般質問）		
	17日	本会議（一般質問）		
	18日	議会運営委員会 本会議（議案質疑） 予算特別委員会 会派代表者会議		

記事内容

6月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
一般質問	P 4～P 9
討論・表決状況	P 9
予算特別委員会・陳情・意見書等	P 10
常任委員会の動き・特別委員会の設置	P 11
議会報告会のご案内・編集後記等	P 12



男鹿市ホームページでは
創刊号からの「おが市議会
だより」をご覧いただけます。



無料アプリ「SideBooks」
で「おが市議会だより」
がご覧いただけます。



無料アプリ「マチイロ」
で「おが市議会だより」
を配信しています。



6 月
定 例 会

6月定例会は6月11日に招集され、6月30日までの20日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案や一般会計補正予算案、単行案など16議案が市長から提案されたほか、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業に要する経費を盛り込んだ一般会計補正予算案が会期中に追加提案され、審議の結果、全ての議案を可決しました。

また、最終日に追加提案された農業委員会委員の人事案19件を同意したほか、議案2件を可決とし閉会しました。

※会議録は「男鹿市議会会議録検索システム」から随時ご覧いただけます。

●図書館を核とした「複合交流施設」の整備について

5月25日開催の議会全員協議会の説明では、「男鹿工業高校敷地」「船越こども園隣地」「男鹿駅周辺広場の市民駐車場」の三つを候補地としていましたが、本定例会初日、菅原市長の市政報告において「男鹿駅周辺広場の市民駐車場」を第一建設地として選定したことが示されました。

このことを受けて、さらなる議会への丁寧な説明と開かれたプロセスの徹底を求めるとともに、他の候補地との比較検討状況、庁内における決定までのプロセスなど多くの意見が出されました。

また、基本構想段階で規模感を把握するための仮定値として示されている15億円程度



▲複合交流施設のある町並みイメージ

の概算建設費の根拠や妥当性のほか、中核となる図書館に附帯する機能の規模感や必要性など、多角的な観点から議論が交わされました。

市ではこの後、9月補正予算案への基本計画策定経費を計上する予定としており、財政状況を踏まえながら必要に応じて施設機能を取捨選択し、市民や関係者の意見を伺い、

可能な限り計画に反映させるとしています。

議会としては、示された建設候補地を最終決定とするのかどうかも含め、人口減少下における箱物の費用対効果を検証し、何より市民の総意を創り出すべく、議会の監視機能を最大限発揮していきます。

●国民健康保険税条例の一部改正について

子ども・子育て支援の大義は理解しつつも、低所得層の加入者が多く重税感の強い国保税への上乗せ徴収という手法に異論が出されました。

市としては「全ての医療保険制度から徴収される国の制度であり、国保加入者のみを対象外とすることは困難」と理解を求め、令和9年度以降の国保税率については、被保

よる上空からの搜索も行われている。

一方で、早期の通報があれば、迅速な追跡・捕獲が可能となり、安全確保につながることもとなります。市内において人的被害は絶対に出さないという強い覚悟を持って対策を講じるよう強く求めました。

市では、目撃情報が多発し

●ツキノワグマの被害防止対策について

険者数や所得の動向、基金残高など様々な要素を勘案し検討する旨方針が示されました。本会議最終日には反対・賛成の討論がそれぞれ行われ、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

若者・子育て世帯を優先し、期間を定めて公募をする。複数応募があった場合は、抽選等で選定することとしている。

購入後の転売等を防ぐため、売買契約後、5年間は居住する条件を付けることとしている。

今後このような手法により売却を継続していく考えなのか。

●特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

売却価格の算定基準は、鑑定士の意見書を基に算定することとし、建物についても鑑定士に評価を依頼している。

子育て世帯や定住を希望する世帯をどのように優先するのか。

また、購入後の転売や目的外利用を防ぐため、居住期間などの条件を設ける考えはあるか。

議案
質疑

誰のため？市民と描く男鹿の未来！

複合交流施設は
～建設地の妥当性
や機能の在り方を多角的に議論～

金額はもちろん重視するが、地域に与える影響もある中で、総合的な判断の下進めていきたいと考えている。例えば、僅かに金額が低い

今後の市の発注の考え方は変わらないか。

一括発注が価格面でメリットがあると判断した。

当該工事については、一括発注が価格面でメリットがあると判断した。

入札の応札数と予定価格に対する請負率は、

応札は4者で、請負率は97・5%である。

なぜ分離発注をしないのか。

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について

北浦コミセン移転改修工事請負契約について



▲北浦コミセン移転先の旧北陽小学校

からといって市外事業者と契約を結ぶよりは、市内事業者に発注したほうがよいと思うが、市外事業者を含めた競争によって、明らかに事業費を抑えられるような事業もあるため、個々の状況に応じて判断していきたいと考えている。

可決した主な議案

〔条例〕

●国民健康保険税条例の一部改正

◇子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、子ども・子育て支援納付金に関する規定を定めるもの。

●特定公共賃貸住宅条例の一部改正

◇平成5年度建設の特定公共賃貸住宅3棟について、公募により一般世帯へ売却するもの。

●ガス供給条例の一部改正

◇国の電気・ガス料金負担軽減支援事業によるガス料金の値引きを行うもの。

ほか4件

〔予算〕

●一般会計補正予算(第1号)

◇最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付をはじめ、医療費助成のオンライン資格確認に係るシステム改修費などを措置したほか、県のおきた出産・子育て応援給付金事業の終了による減額、国の交付金採択に伴う減額や財源補正などの調整を図るもので、歳入歳出2800万円を減額するもの。

●国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◇国による子ども・子育て支援金制度の創設に伴い、新たに子ども・子育て支援金を賦課し徴収することとなるため、当該支援金を予算措置し調整を図るもの。

●一般会計補正予算(第2号)

◇国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するもので、歳入歳出1225万円を追加するもの。

ほか1件

〔その他〕

●北浦コミュニティセンター移転改修工事請負契約の締結

●旧北浦小学校解体工事請負契約の締結

●財産(旧若美漁港多目的広場休憩所)の無償譲渡

●農業委員会委員の任命

・原田 智也(福米沢)

・伊藤 淑栄(船川)

・清水 司(船越)

・佐藤 正樹(角間崎)

・伊藤 賢一(五里合)

・佐藤 洋介(野石)

・中田 和彦(北浦)

・目黒 透(北浦)

・鈴木 豊則(北浦)

・加藤 和洋(野石)

・鈴木 陽一(脇本)

・鈴木 和俊(五里合)

・鈴木 孫城(福川)

・中田 清太(北浦)

・高桑 順一(男鹿中)

・三浦 淳美(男鹿中)

・藤原 妙子(五里合)

・三浦 栄子(鵜木)

・進藤 ひかる(角間崎)

ほか3件

〔議員提出議案〕

意見書2件



議員 優子 藤進
(公明党)

ふるさと住民登録制度の推進について

質 今年度から本格的にスタートする「ふるさと住民登録制度のプラットフォームの開設」時期に合わせ、関係人口創出のため、積極的活用に向けた準備を進めていく必要があると考えるが。

答 今年度中の稼働に向け、首都圏男鹿の会やナマハゲ伝道師の方々、企業版ふるさと納税や誘致企業など本市と関わりの深い関係者に働きかけ、本制度を通じて結びつきを一層深めていきたい。

シティプロモーションの推進により、首都圏の若者や子育て世代を中心に「なまはげの里おが」の認知度向上を図り、新たなファン層を開拓し、関係人口の裾野拡大にも努めていく。関連施策との相乗効果が地域の活力向上につながるよう、しっかりと準備していく。

市民憲章推進協議会について

質 「解散に至った経緯」と「解散後の地域支援策」は。



議員 正博 船木
(新会)

人口減少時代における地域維持と行政運営について

質 学校統合後の地域コミュニティの維持について。

答 地域活力の低下は学校統合そのものよりも、人口減少や少子高齢化など構造的な問題が大きいと考えている。町内会活動への支援や集落支援員の配置、コミュニティ・スクールの活動強化を進めている。「ふるさと住民登録制度」により関係人口の創出に努め、廃校舎は民間への譲渡を基本に地域振興に資する活用を検討していく。

質 空き家・空き地対策について。

答 第2期空家等対策計画に基づき、適正管理と利活用を両輪に取組を進めている。所有者への働きかけやNPO法人との連携、市内不動産事業者との意見交換等を実施し、空き家バンクでは登録196件、売買成約86件、賃貸成約6件、除却は71件に達している。

質 公共施設の維持管理について。

答 高齢化による役員の成り手不足と後継者の確保が困難で、特定の人に負担が集中している状況にある。地域づくりの推進に関わる既存の組織を整理・統合した上で、活動の効率化を図る必要があり、発展的解散の方針を固めた。

事業は地域の実情に合わせた組織の下で進められるようサポートし、活動への補助金により活用しやすい形となるよう検討していく。

生命（いのち）の安全教育について

質 子どもたちが性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないよう全国の学校で「生命（いのち）」の安全教育を推進しているが、本市の実施状況と課題は。

答 全ての小・中学校で年間計画に基づき実施しているが、生命の安全教育の趣旨や指導内容、進め方は言い難いほか、インターネットやSNS利用の低年齢化による情報モラルの低下が懸念される中、カリキュラムや教材の整備も必ずしも十分とは言えない状況にある。

質 外部講師のネットワーク構築や、保護者の理解促進等に向けた仕組みづくりも必要では。

答 講師のデータベース化を進めるとともに、オンライン講座の導入についても検討していく。

答 持続可能な市政運営には公共施設総量の縮減が必須である。「のばす・へらす・ならす」の三つの基本方針を掲げ、計画的な管理に努めてきた。加えて今後は、利用頻度や老朽度、類似施設の代替性等を総合的に勘案し、「スマートシユリンク」を推進していく。

老朽化するインフラ対策について

質 上下水道管・橋梁・道路インフラの現状について。

答 上下水道は計画的な更新と予防保全を行っており、AIを活用した劣化度予測も導入している。道路は職員や民間委託によるパトロールを、橋梁は5年に1回の点検を実施し、各計画に基づき計画的に修繕している。いずれも、国の補助事業や補助・交付金、企業債や各種事業債等を活用し、計画的に修繕工事を実施している。

質 市民参加型の安全対策について。

答 生活道路では、各地区のコミセンや町内会長、郵便局からの連絡、市民からのLINE等による情報提供を受け、点検・修繕を実施している。また、通学路は毎年、関係機関と合同点検を実施している。今後も行政による計画的な維持管理と市民協働型の取組を組み合わせ、持続可能な維持管理体制の構築に努めていく。



議員 穰 太田
(新会)

男鹿東中学校・男鹿南中学校の統合を見据えた、統合校の配置と男鹿工業高校校舎等の教育的活用について

質 令和10年度をめどに予定されている男鹿東中学校と男鹿南中学校の統合について、男鹿工業高校の校舎や既存施設を統合中学校の候補地の一つとして検討する考えはないか。

答 男鹿工業高校は活用可能な施設がそろっており、候補地の一つとして検討する価値は十分にある。今後、統合中学校の設置場所も含めて公共的な利活用を念頭に、庁内で検討を進め、市の意向を県に提案・協議していく。

複合交流施設の整備と候補地選定の在り方について

質 図書館機能、子育て支援、多世代交流、市民活動支援、居場所づくり等をどう整理し、何を軸として施設を整備するのか。

答 図書館を中核に、屋内こども広場、交流・滞在スペース、飲食・休憩機能等の導入を想定し

ている。また、市民の利便性、交通アクセス、周辺施設との連携、防災面、市有地である利点等を総合的に検討し、男鹿駅周辺広場の市民駐車場が建設地に最もふさわしいと判断した。今後の基本計画策定においても幅広く市民意見を伺い、丁寧な説明に努めていく。

浜間口バイパスの進捗と滝川河川の浸水リスク対応、加茂青砂地区の道路環境整備と防災について

質 国道浜間口バイパスの進捗と効果、滝川河川の浚渫や浸水リスクへの対応、加茂青砂地区の県道沿いの樹木対策の状況は。加茂青砂地区の災害時の孤立対策について、ヘリ離着陸、海路救助、関係機関との連携を含め、実効性ある対策をどう進めるのか。

答 浜間口バイパスは令和12年度の供用開始を目指し整備が進められており、昨年度末の進捗率は事業費ベースで約65%である。滝川河川は下流側から順次浚渫を進めており、引き続き県に流下能力の向上を求める。加茂青砂地区の樹木対策も県に強く要請しており、孤立対策では、同地区の緑地広場駐車場が非常緊急離着陸可能候補地の一つに県から選定された。地域に寄り添った防災対策で地域住民の不安解消に努める。

設置による雇用創出や人流も生まれている。

ストーリーがあるまちづくりについて

質 市民が共有できる大きなストーリーや未来像を、どのように描き発信していく考えがあるのか。

答 今年度からスタートした新たな総合計画は、今後4年間の戦略的なまちづくりの具体的な方向性と目指す姿を示したものであり、市民とのビジョンの共有を念頭に、市民参加による検討プロセスを経ることで、より実効性の高い計画に仕上がっている。今後も様々な機会を捉え市民と共有し、共に歩んでいきたい。

質 生活インフラコストを下げ、実質的な可処分所得を高めるという視点を、政策全体に位置づけていく考えはあるのか。

答 最重要課題である人口減少を食い止めるための少子化対策として、子育て環境日本一を目指し「六つの無償化と五つの補助金・給付金」により子育て世帯の経済的負担の軽減を図っているところである。限られた財源の中で全ての生活インフラのコストを下げることは困難なため、必要性や効果等を十分に吟味し、今後めり張りをつけた施策を展開していく。



小野 肇 議員
(新 星 会)

陸上風力発電設備の安全性について

質 ブレード破損等の事故を受けて、市が主体となって市内の風力発電事業者で構成する安全協議会を設立する考えはないか。

答 電気事業は、国が電気事業法に基づき技術基準を定め、保安を監督し、安全管理の仕組みづくり

質 海水浴場や海岸線でのレジャーは安全・安心が担保できているのか。

答 船越・野石地内の事故を受け、緊急点検の実施と市が定めるガイドラインの遵守を要請したほか、市内の風車設備の臨時巡回を行い、管理不全設備がないか調査したところ、該当案件は確認されなかった。市としては、当面、職員による巡回を適時行う。

巨大なまげ立像の管理について

質 御幣の一部が折れ曲がったが、



夏井 博子 議員
(男鹿未来の会)

男鹿みなと市民病院の現状について

質 接遇に関する市民からの意見や要望の把握状況について。

答 電話や電子メール、窓口等で直接お受けするほか、意見箱や入院患者へのアンケートなどで把握し、その都度情報の共有に努めている。職員一人一人が患者の声を自らの課題として捉え、知恵を出し合い、再発防止や患者サービスの向上に生かしていく。なお、電話での予約受付の変更に対応すべく現在準備を進めている。

質 お金をかけずに取り組める経営改善策について。

答 経営が厳しいからこそ、コストをかけない知恵が最大の改善策になると考えている。職員一人一人がおもてなしの心を持ち、患者に寄り添うことが、まずは第一歩である。財政的には極めて厳しい局面を迎えているが、「お金がないからできない」と諦めるのではなく、「どうすればできるか」を全職員で考え抜き、市民から愛さ

従来どおり目視点検を重視しているのか。

答 「施設点検マニュアル」で定められた点検事項に基づき、年2回の頻度で点検してきたほか、指定管理者においても日常の管理の中で異常がないか確認を行っている。

施工から二十数年が経過しており、不測の事故を防止するため、周囲への柵の設置など段階的な措置を講じるほか、将来的な撤去も視野に検討していく必要があると考えている。

公共インフラの老朽化対策について

質 老朽化対策はどの程度進んでいるのか。また、その財源の確保はどうか。

答 上下水道・ガス施設とも、劣化状況や優先度などを総合的に見極めながら計画的に更新しており、実施にあたっては、国の補助事業や企業債等を活用する。

道路舗装については、主要幹線道路を中心に策定した「男鹿市道路舗装修繕計画」に基づき、国の社会資本整備総合交付金や石油貯蔵施設立地対策等交付金などを活用している。また、橋梁については、「男鹿市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき実施し、国の補助金や過疎対策事業債を活用している。

れ、選ばれる病院を目指し一丸となって取り組んでいく。

質 医療機器や設備の有効利用について。

答 現在、設備投資を抑制しつつ、既存設備の稼働率を最大化することが重要課題となっており、地域の診療所の先生方と双方向の連携を取り、共に患者を支える病診連携の取組を進めていく。また、病床削減に伴う空き病床の活用も重要な課題であり、病院機能を地域全体へ開放し、公立病院として求められる公的サービスの地域貢献の拠点として活用できるよう知恵を絞っていく。

質 市民に来ていただけるように導く手段について。

答 患者との丁寧なコミュニケーションを大切であり、情報発信に加え、出前講座や健康教室など対面交流を通じて気軽に相談できる「かかりつけ病院」としての存在感を高めていく。

質 待ち時間短縮の対応策について。

答 無料Wi-Fiやテレビを設置するなど、患者サービスの向上につながる環境整備も進めている。電子カルテと連携したIC Tや自動精算機など、システム面での改善も財源を見極めつつ検討していく。



佐藤 誠 議員
(明 政 会)

八郎湖からのアオコについて

質 八郎湖の水位が一定以上になると防潮水門が開けられ、船越水道からアオコに加えて油かす状の茶色の泥が悪臭を伴い海に流れ出る。それが対馬海流に乗り、入道崎の沖まで及んでおり、近年は、特に状況が悪化していると言われている。男鹿と言えば新鮮な海の幸のイメージがある中、特に漁業者の声を聞くと深刻である。アオコや泥の正体、その原因、漁業への影響を市はどのように認識しているのか。また、アオコ発生の対策として、富栄養化にならない適正量の施肥への転換を進める実施例もあるが、周辺自治体との連携や、県・国への働きかけはどのようになっているのか。

答 県では、今年3月に「第4期八郎湖に係る湖沼水質保全計画」を策定し、生活排水等の発生源対策やアオコ対策をはじめ、湖底耕うんや水田からの濁水流出を抑制する水質保全型農業を促進し、水質改善に取り組むとしている。



安田健次郎 議員
(日本共産党)

市民のくらし応援対策について

質 長引く物価高騰により、市民の生活は困窮している。

支援金等の支給や高齢者世帯等へのエアコン設置補助を実施すべきではないか。

答 市民生活はもとより、地元経済を支える中小事業者などにも影響を及ぼしている。

対策の実施にあたり、より深刻な影響を受け、真に支援を必要とする方に対し重点的かつ効果的に支援することを基本としており、これまでも国の交付金を活用し、特に家計への影響が著しい低所得世帯などに対して、数次にわたり現金給付等の生活者支援をスピード感を持って行ってきた。

エアコンの購入に関しては、市や教育委員会、社会福祉協議会等へ寄せられる相談は極めて少ない状況にあり、市民から本当に必要なとされている事業なのかということを慎重に見極める必要があると考えている。

アオコによる海面漁業への影響については、市としても大変懸念しており情報収集している。漁業者からは、アオコや泥による海の濁り、魚介類への影響の音が寄せられており、知事への要望に、八郎湖のアオコや泥との因果関係を究明するよう特に依頼した。今年度は6月からアオコ調査を実施し、科学的に検証の上、原因を特定すると県から伺っている。市として県の調査に協力していくほか、具体的で実効性の高い対策が講じられるよう国・県に要請していく。

クマ対策について

質 目撃情報が増えてきているが、人里に食料目当てで現れる個体数を推測しているのか。市は男鹿からクマを全て排除するとしているが、実行するための体制は整っているのか。防災無線で「体長や方向」など、より詳細な情報を周知できないか。

答 アーバンベアに該当するか判断できていないが、人里と山林が隣接している本市では、どこでも遭遇する可能性がある。目撃情報を受け、速やかに地元猟友会、警察や消防と連携し、捕獲に向け、赤外線付ドローンも活用しながら対応している。防災無線では最低限の情報に絞り、少しでも早く周知できるよう努めている。

国民健康保険税の引下げを！

質 独自に実施したアンケートでは、8割の市民が「国保税が高くて困っている」との回答であった。市民の願いに応え、国保税の引下げを実施すべきではないか。

答 過去二度の引下げを実施してきた。現時点の見通しは、歳入面では被保険者数の減少や米価の下落も予想され、税収の落ち込みも考えられる一方、歳出の面では一人当たりの医療費が依然として高い水準で推移しているほか、一般の診療報酬の引上げ等による保険給付費の増大が懸念される。

令和9年度以降の税率については、被保険者数や所得の動向、国の制度改正に伴う影響を見極め、これまでの決算状況や基金残高など様々な要素を勘案し慎重に検討を進めていく。

災害時におけるトイレ対応策について

質 災害時におけるトイレ対応を強化する考えは。

答 トイレ不足や不衛生な環境を嫌ってトイレを我慢することは、深刻な体調不良や健康被害を招き、最悪の場合、災害関連死に至る要因ともなる。災害時にあっても、誰もが安心して利用できるトイレ環境の整備に努力していく。



議員 真 星 会
猿田 真 (新 星 会)

公共温浴施設の閉館に伴うその後の北部地域の現状や将来像について

質 これまで多くの方が憩いの場として利用してきた温浴施設の閉館に伴い、普段の暮らしの中において、また、観光客も気軽に立ち寄れる休憩スポットや入浴場が、地元では必要とされている。現在運営されている地元の温泉事業者や地域住民との協議を重ね、話を進める価値は十分にあると考えるが、市としては必要性をどのように考えているのか。

答 「温浴ランドおが」は、過去10年で平均約4000万円に上る多額の維持管理費を要していたほか、利用者が年々減少するなど厳しい経営環境にあった。さらに、当時の試算で5億円を超える大規模改修が想定されていたことから、令和5年度末での廃止に至った。

地域が誇る男鹿温泉郷をはじめ西海岸など各所に名湯が点在し、日帰りで市民が利用できる温浴施設がない状況である。

設や個性豊かなサウナ設備を有する宿泊施設も相次いで開業している中、市が主体となって新たな温浴施設を整備する考えはない。

質 現在、市内には公共のコインランドリーを併設した入浴施設がない状況である。

今後、万が一、大規模災害やインフラの老朽化等によって長期の停電や断水等に陥り、市内住民宅の浴室や洗濯機が使えなくなった場合、どのように市民の暮らしを守り、対応するつもりなのか。

答 大規模災害の発災当初は生存に不可欠な飲料や食事への水利用を最優先すべきであり、入浴や洗濯のための使用は、供給状況等を踏まえて慎重に判断しなければならぬのが現実である。

その間の対応として、地域防災計画に基づき、拭きシートや使い捨て下着、紙おむつ等の衛生用品を備蓄しているほか、市内ホームセンターとの協定による「流通備蓄」の強化にも努めている。避難所生活が長期に及ぶ場合には、自衛隊からの協力や県が導入した水循環型シャワー設備の設置を依頼するほか、市内10のホテル・旅館が加盟する「旅館ホテル生活衛生同業組合」との協定に基づき、各施設を一時的な避難場所として利用させていただくことで衛生環境の確保を図っていく。

果樹生産の気象災害対策へのDX応用について



議員 佐々木克広 (男鹿未来の会)

質 県の「災害に強い果樹DX推進事業」への参画・協力の可能性は。

答 和梨農家の営農支援として、「低溫情報のお知らせシステム」と「発芽・開花日予測システム」の利用登録を中石果樹生産組合に呼びかけ、現在、約半数の組合員が登録している。今後は、開発元である県立大学にフィードバックし、より精度の高いシステム構築が図られるよう協力していく。

質 県立大学や金足農業高校、果樹農家と連携した農業DXの展開に関する市の見解は。

答 県立大学や金足農業高校、県の果樹試験場、JA、そして地域の梨農家が緊密に連携し、農業DXの知見を生かした省力化・効率化の取組を研究・普及するとともに、次世代の担い手育成に注力しながら、男鹿梨の産地の維持・発展に努めていく。

【その他の質問】

●男鹿海洋高校と男鹿工業高校の統合後の活用・連携について
①市のスポーツ施設を活用させる考え
②スポーツ指導者を招聘する考え
③寄宿舎を部活動強化等に活用するべく市が関わる考え
④男鹿工業高校跡地利用の市の考え



議員 元章 星 会
鈴木 元章 (新 星 会)

農福連携と担い手不足について

質 農福連携とは、障害のある方などが農業に取り組みすることで、社会参画や就労機会を創出し、生きがいづくりにつながるほか、高齢化や担い手不足の確保にも期待できるため、近年は全国各地で推進されている。

そこで、農福連携について近隣市町村との情報交換等は行われているか。また、農家の担い手不足を解消するための対策をどのように考えているか。

答 本市では、情報収集や関係者間の情報共有が決して十分とは言えない状況であったことから、今後は農業経営体と福祉事業所双方のニーズ把握に努めるとともに、県の研修会やセミナー等を通じて情報収集を進め、農業関係者の理解促進に取り組んでいく。

質 市内の福祉事業所へ農作業等を委託した場合の経費に対し、補助金交付等の考えはないか。

答 福祉事業所への農作業委託に対する助成制度を県内で導入

議案第46号・第58号に対する反対討論

安田健次郎 議員

国が進める子ども・子育て支援金制度は、児童手当の拡充と少子化対策の財源確保のため、国保税などに上乗せし徴収する方針であり、子育て世帯だけでなく、子育てを終えた高齢者世帯まで負担することとなっている。

国民皆保険制度は、誰もが等しく医療を受けるための大切な財産であるが、国保税は税の中でも重税感が強く、滞納の大きな要因であると同時に、市民からの引下げ要求も強いと考えている。

以上の状況から、国保税への上乗せは、国保税制度の理念から決して許されるべきではなく、少しでも引下げ対策を重要視すべきという観点から、今回の改正に反対するものである。

議案第46号・第58号に対する賛成討論

太田 穰 議員

この制度は、国民健康保険だけを対象とするのではなく、医療保険制度全体で支える仕組みとして令和8年度から始まるものである。被用者保険は、4月分から拠出が始まっており、国民健康保険については、市町村が条例に基づき、世帯や所得等に応じて賦課する仕組みであり、本市においても

している市町村はないが、関係機関と連携しながら実態把握と情報収集を進め、具体的なニーズや課題が明らかになった段階で、どのような支援が有効であるか、奨励金制度を設けているなどの先進事例を参考に検討していく。

芸術文化のまちづくりについて

質 芸術文化を生かしたまちづくりに向け、空き家や廃校舎を活用し、地域の記憶を継承しながら、新たな交流を生む有効な手法がある。北陽小や男鹿北中の廃校舎のほか、今年度末で閉校する美里小などには、新しい芸術文化の拠点を生み出す価値が十分にあると考えられる。

そこで、空き家、廃校舎を芸術文化の展示会場等として活用する考えはないか。また、これらの取組に対し、補助金や助成制度活用への考えはないか。

答 空き家や廃校舎の活用については、地域の活性化や波及効果等を踏まえ、可能な限りサポートに取り組んでいく。

また、今後とも必要に応じて国の助成制度等を活用し、芸術文化の振興を後押しし、市民が主体的な表現活動や鑑賞、交流を通じて生きがいを見いだし、誇りをもつて心豊かに暮らすことができるよう取り組んでいく。

条例改正および補正予算により必要な対応を行うものである。

新たな負担が生じることにについて、決して軽く受け止めるべきではないが、制度の趣旨、低所得世帯への軽減措置など、市民に分かりやすく周知し、不安や誤解が生じないように努めていた。きたい。

しかし、本議案は、国の制度改正を受け適正に運営するために必要なことであり、趣旨を踏まえれば必要な対応であると判断する。

議案第46号 国民健康保険税条例の一部改正 議案第58号 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		表決状況（令和8年6月定例会）														議：議長			
		新 星 会					男鹿未来の会				明政会				日共 本党	公明 党	議決結果		
		鈴木	小野	太田	船木	畠山	猿田	佐々木	蓬田	吉田	三浦	夏井	佐藤	船木	古仲	安田		進藤	
		元章	肇	穰	正博	富勝	真	克広	司	洋平	利通	博子	誠	一人	清尚	健次郎		優子	
議案第46号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	可決	
議案第58号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	可決

※三浦利通議長は採決に加わりません。

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

予算特別委員会

全議員で構成する予算特別委員会（船木正博委員長、佐々木克広副委員長）で、付託された一般会計補正予算案等について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

低所得子育て世帯物価高騰生活支援特別給付金事業について

質疑 支給開始が9月下旬を予定しているが、最速なスケジュールなのか。

また、現状のスケジュールを、市としてどのように捉えているのか。

答 支給対象者は6月末に確定し、児童扶養手当受給者へのプッシュ型の支給は9月を予定しているが、8月中の支給に向けて事務処理の効率化を検討する。

住民税非課税および均等割のみ課税子育て世帯の養育者は申請型となる。審査に時間を要するため9月の支給を目指し準備を進める。同様に、児童扶養手当受給者を除く令和8年1月1日以降の転入者も申請型となる。

意見 申請型について、受領

後、随時給付できる対策も必要ではないか。なるべく、早い段階で困っている方々の手元に届く形で進めていただきたい。

質疑 物価高騰対策について、この後、国から示されている動きなどはあるか。

答 現時点で、情報は何もない。

国の施策は、ガソリンや電気・ガス代への補助継続、さらには食料品への消費税対策など打ち出されている。

物価高騰に対する支援の在り方については、これまでのように地方へ交付金を通じた支援から、国全体で直接的にコントロールする手法へ移行する可能性も示唆されている。このような国の動向から、今後の方針については現時点で見通しを立てることが難しい状況である。

中東情勢悪化を背景としたナフサ不足の影響について

質疑 ナフサ不足による本市ごみ袋の不足は生じていないか。

答 ごみ袋の現在の在庫は種類によって若干の違いはあるが、払い出しの実績を踏まえると、令和9年1月から3月までの払い出し可能な数量がある。

それ以降については、この後、入札を行う予定となっており、可燃用の大きな袋は令和9年10月まで、それ以外の袋は令和10年1月までの在庫を購入する予定である。

令和8年度当初予算では、全てのごみ袋について、令和10年3月までの在庫を確保する予定で予算措置していたが、ナフサ不足の影響により原料の価格が高騰し単価が上がっており、発注枚数を減らさざるを得ない状況である。

市民生活に必要な不可欠なものであり、万が一にも品不足にならないよう在庫管理を徹底するとともに、原料価格に注視しながら適切に対応していく。

船川港の特定利用空港・港湾について

質疑 地元自治体の意見を聞くとのことだが、市長の考えは。

答 国から県に対し、特定利用空港・港湾の指定に関する打診があり、担当部長、課長が説明を受け、内容の確認を行った。

本市は、半島防災が大きな課題となっていることを踏まえると、平時の訓練は、災害発生時等の円滑な対応につながると思われる。

現在、全国で既に50を超える空港・港湾が指定されていることを踏まえると、県から意見などを求められた場合、特に否定するものではない。

市民をはじめ、議会や我々も含め、疑問点はあることから、県と連携しながら、国へ確認を行うなど対応をしていきたいと考えている。



▲特定利用空港・港湾の打診があった船川港

陳情

● 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

● ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情

● ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情

意見書

● 地方財政の充実・強化を求める意見書

● ゆたかな学びの実現、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書

2件が可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

● 複合交流施設の建設地について

質疑 選定地の浸水リスクに懸念がある。災害時における安全性担保の考え方は。

答 近隣の避難所として旧NTTビルがあり、避難場所は確保されているほか、災害時の対応はオガレを含めた周辺を一体的に考え、訓練や避難経路の確認等、施設整備に向けた重要な課題と捉え、支援策を含め、しっかりと対応する。

質疑 交流・飲食スペース等その他附帯機能について、市の財政状況や既存の類似施設の整備状況等に鑑みた今後の整備方針は。

答 基本計画への反映については、財政状況を踏まえながら、必要に応じて施設機能の取捨選択をするともに、

市民や関係者の意見を伺い総合的に判断していく。

質疑 人口減少や少子化を背景とした施設整備の連動性や市内経済への効果は。

答 人口減少がもたらす最大の懸念は消費の縮小であり、経済をどう維持するかが課題である。複合交流施設の整備により、交流人口等が拡大することで、経済を活性化させ、さらに他事業と連動することで、市内全域に効果の波及が期待できる。

教育厚生

● みなと市民病院資金不足等解消計画の策定について

説明 令和7年度決算では、約2億7000万円の資金不足が発生し、同比率は13・5%に達する見込みである。

比率が10%以上になると、地方財政法に基づき地方債の発行に総務大臣または秋田県知事の許可が必要となるほか、資金不足等解消計画の策定が義務付けられている。計画策定内容には、要因分析や解消

策のほか、今後の収支計画や比率の見直し等を盛り込むことが必要とされている。具体策としては、病院事業債の借入れによる資金繰りの改善や設備投資のさらなる平準化、収益面や費用面からの経営改善の取組により、資金不足の解消を図っていく。

意見 人口減少に伴い患者数が毎年減少し、経営状況も厳しさを増している。秋田県全体で人口減少が進む中、この病院も経営が苦しい中で、患者の奪い合いではなく、各病院の役割分担を明確にすることが必要だと報道されている。今後、人口減少が進み、病院経営の厳しさも一層増していくことが予想されるが、将来的な病院同士の役割分担や再編といったことも考えていかなければいけないのではないか。

産業建設

● インフォメーションセンターわかみの指定管理について

質疑 今後の方向性は。

答 観光案内所の機能としては、電話・窓口対応それぞれ1日平均2件程度となっており、役割を終えたものとして廃止の方向で進めたいと考えている。廃止とした場合、設置条例を廃止することとなるが、現在テナントとして2事業者が入居していることから、まずは施設の状態や市の考えを説明し、両者の意向確認を丁寧に進めながら、今後の施設の利活用について検討していきたいと考えている。

市としては、この先を見据え熟慮した結果、指定管理期間が終了する今年度末をもつての廃止がふさわしいのではないかと判断したところである。

● 企業局各事業会計の決算見込みについて

質疑 双方にとってメリットのある大潟村への水道水供給について、現段階で想定している供給量は。

答 大潟村と協議している段階で具体的な供給量は差し控えるが、若美浄水場で作られる水道水の余力分、これはパックご飯工場が本格稼働しても影響のない現実的な範囲での供給を考えている。

「議会改革調査特別委員会」を設置

6月定例会最終日において、現状における市議会の課題等に関する調査・検証を行い、今後の議会運営の推進に関する協議を行うため、「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

本特別委員会では、次の課題等について調査・検証を行い、議員間で活発に議論することとしています。

- 【主な調査項目】
- 議員定数に関すること
- 議員報酬に関すること
- 政務活動費に関すること
- 議会中継に関すること
- その他議会運営に関すること

選任された委員は次のとおりです。

- 安田 健次郎
- 夏井 博子
- 鈴木 元章
- 船木 一人
- 進藤 優子
- 畠山 富勝
- 古仲 清尚
- 吉田 洋平
- ◎小野 肇
- (◎委員長、○副委員長)

議会報告会を開催します!

男鹿市では、議会の役割や責任を明確にし、市民に開かれた議会のあるべき姿を定めた「男鹿市議会基本条例」を制定しています。

市政の諸課題に柔軟に対処するため、市民と市議会議員が自由に情報および意見を交わす場として議会報告会を開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



▲昨年度の様子（五里合地区）

開催日	時 間	会 場	出席議員（◎は代表者）
8月7日（金）	9時30分～	椿コミセン	《2班》 ◎太田 穰・佐藤 誠 吉田洋平・夏井博子 船木一人
	13時30分～	船川港公民館	
	16時30分～	脇本コミセン	
8月7日（金）	10時～	船越コミセン	《3班》 ◎船木正博・安田健次郎 進藤優子・蓬田 司 佐々木克広・小野 肇
	13時30分～	五里合コミセン	
	17時～	若美コミセン	
8月8日（土）	10時～	戸賀コミセン	《1班》 ◎畠山富勝・鈴木元章 三浦利通・古仲清尚 猿田 真
	13時30分～	北浦コミセン	
	16時～	男鹿中コミセン	

9月定例会の予定

8月	26日	招集告示 議会運営委員会	9月	9日	予算特別委員会
				10日	予算特別委員会
9月	2日	本会議（議案上程）		11日	決算特別委員会
	4日	本会議（一般質問）		14日	決算特別委員会
	7日	本会議（一般質問）		15日	常任委員会・分科会
	8日	本会議（一般質問）		16日	常任委員会・分科会
	9日	本会議（議案質疑）		28日	予算特別委員会
					議会運営委員会
					本会議（表決）

訂正とおわび

「議会だより91号」の1ページおよび4ページに掲載いたしました三浦利通議長の氏名に誤りがありました。読者の皆様に深くおわび申し上げます。

議会広報特別委員会

長年の功績を称え

第102回全国市議会議長会定期総会において、三浦利通議長が永年勤続者として議員在職30年以上の特別表彰を、船木正博議員、佐藤誠議員が一般表彰をされましたので、6月定例会開会日に表彰状の伝達を行いました。



編集後記



▼私を含め新人議員が加わり、フレッシュな雰囲気の下に改選後、初の定例会が開催されました。一般質問では多くの市民の皆様から傍聴にお越しいただき、今後の市政運営に対する高い関心をうかがい知ることができ、熱の籠もった緊張感ある議論が交わされました。

▼市内では、今年も夏に向けて多くのイベントが開催される予定です。暑い夏、日常の暮らしや屋内外の作業においても熱中症予防対策は万全にしたいところですが、周囲に対する声かけや気づきなどで事故を未然に防ぐ『皆で支え合う地域づくり』を目指したいものです。

▼先日、家族が収穫した「ジャガイモ」運びを手伝いました。男鹿の方言で「あんぶら」と呼ばれますが、実はオランダ語の『Aardappel（土のリンゴ）』という語源説があり、かつての交易のロマンを感じさせます。あんぶら餅は私たちが故郷の味です。

（猿田 真）